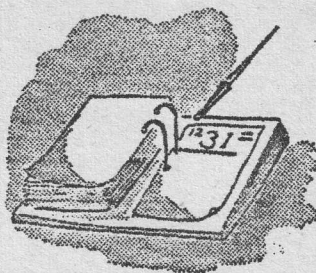


JARL

香川クラブ報

№ 221 昭和60年12月15日



社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

忘 年 会 の ご 案 内

やってきました年の暮、今年もいろいろありました。それやこれやのお話しを、お空でなくしてダイレクト、お顔を合わせて話しましょう、あなたとわたしのランデブー、場所はおなじみ赤松で……。

クラブ恒例の忘年会を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げますとともに、多数の方々のご出席をお待ち申しあげる次第です。

記

日 時 昭和60年12月30日(月) 午後6時から

場 所 とんかつ赤松 TEL 31-8045

(瓦町北フェリー通り200m)

会 費 5,000円

申込先 もよりの役員まで 最終集約→JA5TFJ→JA5AHM

締 切 12月28日

役 員 会 の お 知 ら せ

クラブ役員会を下記により開催いたしますので、役員各位にはご多忙中とは存じますが、新春の顔合わせも兼ねましてぜひともご出席願います。

記

日 時 昭和61年1月12日(日) 10時30分～

場 所 高松市三谷町 高松市民いこいの家 「平和荘」

議 題 クラブ総会準備

JARL総会に向けて

そ の 他

(注) 当日午後には、同会場において昭和60年度の県支部主催「香川マラソンコンテスト」の審査会を行う予定になっております。

「郵便について考える」

J R 5 C Y F

私はよく郵便を利用します。電話より料金が安い場合もあるけれども、ある神父様の曰く、郵便には人の真の心が込められていると思うからです。ところが残念な事に返信が確実とは言えません。これはどうしてなのかと私自身、長い間悩んで来ました。ハムならば電波法に「無線局は自局の呼び出しを受信した時は直ちに応答しなければならない」とありますが、郵便法には多分、そのような規定はないと思います。ハムの場合、電波の有効利用ということがありますから、そのような規定があるのでしょうか、私は多分人道的な面もあるのではないかと考えています。自分に郵便が来てそれに対して返信しないという事は、ハムとして失格なのではないかと自分の心に内面化させ、往信に対しては必ず復信するようにしています。

人はよく言うと思います。「あっ、ごめん ごめん、忙しくて返信する時間がなかったんだ。」。しかし私は、これは最もいい加減な言訳だと思うのです。誰だって松田聖子のような人から往信があれば返信は必ずすると思うからです。私は60円切手というのは60円の価値にあらずと思っています。郵便の価値というのはそれほど安いものではないのです。切手60円+封筒代+使箋代+労働賃金=How much? この労働賃金というものが、なかなかくせもので、労働支出をするかしないかという事は往信者に対する価値判断ではないかと考えています。すなわち往信者の存在が、自分にとって労働支出以上のものであるか未満のものであるかを判断して、バランスシートの帳尻を合わせているのではないかというわけです。日本人は文盲ではないはずなのに、往信に対して返信がないということがしばしばあります。これは単に活字離れと言い切って良いはずはなく、もっと重大な深層心理学に属する問題が含まれていると思います。特に異性間の郵便はこの傾向が顕著だと思います。

JARL香川クラブのみなさんはどう思いますか?…………。

お 知 ら せ

レピータ局

レピータ局 J R 5 W L は香川クラブなど 5 クラブが構成員を出して運営していますが、高松市にも是非レピータが欲しいという要望が強く、1 年ぐらい前から機会をとらえては関係方面にお願いをして来ましたが、しかし 430 MHz 帯は割当られる周波数がないということで現在まで不承認に終わっています。このような状態だと 1200 MHz 帯も、近い将来周波数がなくなるのではないかとということで、高松市と J R 5 W L に 1200 MHz 帯のレピータ局を開局するための申請を行い、このたび承認されました。高松の局は峰山町の猫塚の近くへ設置することになっており、運営は J A R L 香川クラブ、さぬき 2 m S S B クラブ、高松消防ハムクラブ、壇の浦ハムクラブの 4 団体で協力して行うことにしております。高松局、J R 5 W L 局とも先日構成員会議を開き、設置工事の打合せを行いました。免許の予定は 61 年 1 月末頃になるものと思いますので、それまでにすべての手続きを終了したいと考えています。

今回香川県関係で承認されたレピータ局は別表のとおりです。これで県内に 1200 MHz 帯のレピータが 4 局になりますので、このバンドも次第ににぎやかになるものと思います。

ところで開局資金のことですが、J R 5 W L 局では本体購入の資金が不足しており、アマチュア各局のご協力をいただき、目標額の 60% は達成いたしました。あとの不足分を満たすため、各クラブでは 1 口 1,000 円の寄附金を募っております。1200 MHz 帯はまだ関係ないと考えている方も、そのうちこのバンドも当然のように使用する日が必ずや来ることでしょう。その時のためにも、また貴重な周波数を確保するためにも、是非 J A R L 香川クラブのみならずのご協力をお願いいたします。

(別紙)	入 力	出 力	
高松市	1272.50 MHz	1292.50 MHz	新 設
飯山町	1272.54	1292.54	JR5WL 増設
高瀬町	1272.26	1292.26	新 設
小豆郡	434.22	439.22	新 設

当 J A R L 香川クラブも加盟しております高松趣味協会の恒例の新春パーティが下記のとおり催される旨の案内がありました。なお、準備の都合上、出席の申込みは12月25日となっていますので、それまでに J A 5 A H M 局もしくは J A 5 T F J 局までご連絡ください。

記

と き 昭和 61 年 1 月 5 日 (日) 16:00 ~ 18:30

ところ 国民宿舎 栗林山荘

内 容 ゲーム・カラオケ大会・抽せん ほか

會 費 男性 (大人) @ ¥ 4, 000 女性 (大人) @ ¥ 3, 500

高松趣味協会（文化祭に参加しました）

昭和60年11月16日～17日の2日間、市民文化センターにおいて「高松趣味協会文化祭」が開催されました。今年は場所の都合で公開運用はしませんでした。各クラブと共に相談コーナーが設けられ、我がアマチュア無線クラブもパンフレット等を配布しPRに努め好評を得ました。

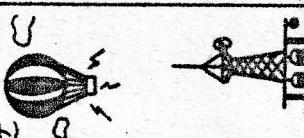
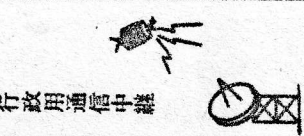
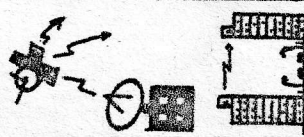
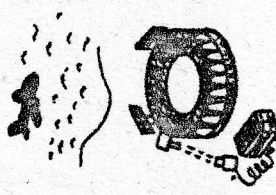
電話級標準コース講習会開講予定

昭和61年1月7日～2月21日の間において実数15日の講習会が開講されます。
すべて夜間で、場所は、高松市市民文化センターです。

行事報告とお知らせ

- 60年8月18日(日)
綾歌町農業改善センターで、JARL総会に関する打合せ会に参加
- 60年9月8日(日)
広田会館でクラブ定例ミーティング開催 JARL総会に関する打合せ
- 60年10月27日(日)
市民文化センターで電信級移行コース(クラブ役員により実施)
- 60年11月10日(日)
三谷町平和荘でクラブ役員会及びJARL総会に向け各担当クラブの会合
- 60年11月17日(日)
綾歌町農業改善センターでの「衛星通信に関する技術講習会」(講師はJA5COY大井氏)にクラブ員も多数受講した。
- 60年12月1日(日)
高松盲学校同窓会館において、盲人電信級移行試験が実施され、受験者3名全員が合格した。

電波利用の現状

周波数	3kHz	30kHz	300kHz	3000kHz 3MHz	30MHz	300MHz	3000MHz 3GHz	30GHz	300GHz	3000GHz 3THz
名称	VLF 超長波	LF 長波	MF 中波	HF 短波	VHF 超短波	UHF 極超短波	SHF マイクロ波	EHF ミリ波	サブミリ波・赤外光 可視光・紫外光 光領域周波数帯 →	
主な用途	オメガ（無線航行） 	航空用ビーコン デッカ（無線航行） 	ロランA（無線航行） 中波放送（AMラジオ） 船舶遭難通信 	アマチュア無線 市民ラジオ 船舶・航空機通信 短波放送・国際放送 	ポケットベル テレメータ 防災行政無線 テレビジョン放送 FM放送 陸上移動通信 	航空・気象用レーダ 自パーソナル無線 自動車無線電話 テレビジョン放送 気象無線（ラジオゾンデ） 	電波天文・宇宙研究 衛星通信・衛星放送 電気通信事業・公益・行政用通信中継 	各種レーダ 各種衛星通信 簡易型地上通信 	リモートセンシング レーザ通信 	

社団法人 日本アマチュア無線連盟

香川クラブ報

発行責任者 J A 5 A H M 天 野 英 弘

編 集 者 J A 5 I Q P 合 田 口 正 春

” J A 5 0 I B 合 田 口 キヨ子

連絡事務所 高松市中新町

(〒760) 天野 英弘 方

(TEL) 高松

郵便振替口座 徳島48758 JARL香川クラブ